

# 三重県競技力向上対策本部

## 第9回本部会議



令和3年6月1日（火）

プラザ洞津



三重県競技力向上対策本部  
第9回本部会議 資料目次

○ 三重県競技力向上対策本部第9回本部会議式次第	P	3
○ 報告事項		
（報告事項1） 委員及び役員の変更	P	7
（報告事項2） 三重県競技力向上対策本部会議等の開催経過	P	8
（報告事項3） 第76回国民体育大会冬季大会三重県選手団報告	P	11
（報告事項4） 令和2年度補正予算の専決処分	P	15
（報告事項5） 三重県競技力向上対策本部第15回競技力向上対策委員会に係る概要	P	16
（報告事項6） 三重県競技力向上対策本部第15回競技力向上対策委員会の審議決定事項	P	18
（報告事項7） 令和3年度暫定予算の専決処分	P	48
○ 審議事項		
（第1号議案） 令和2年度事業報告（案）	P	50
（第2号議案） 令和2年度収支決算（案）	P	53
（第3号議案） 令和3年度事業計画（案）	P	55
（第4号議案） 令和3年度収支予算（案）	P	57
○ その他		
（情報共有事項1） 三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に向けた取組について	P	60



# 三重県競技力向上対策本部 第9回本部会議 式次第

令和3年6月1日(火)  
プラザ洞津 2階 飛翔の間

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 報告事項

- (報告事項1) 委員及び役員の変更
- (報告事項2) 三重県競技力向上対策本部会議等の開催経過
- (報告事項3) 第76回国民体育大会冬季大会三重県選手団報告
- (報告事項4) 令和2年度補正予算の専決処分
- (報告事項5) 三重県競技力向上対策本部第15回競技力向上対策委員会に係る概要
- (報告事項6) 三重県競技力向上対策本部第15回競技力向上対策委員会の審議決定事項
- (報告事項7) 令和3年度暫定予算の専決処分

## 4 審議事項

- (第1号議案) 令和2年度事業報告(案)
- (第2号議案) 令和2年度収支決算(案)
- (第3号議案) 令和3年度事業計画(案)
- (第4号議案) 令和3年度収支予算(案)

## 5 その他

- (情報共有事項1) 三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に向けた取組について

## 6 閉 会



# 報 告 事 項





## 委員及び役員の変更

	選出区分	所属機関・団体・役職名	新	旧
委 員	県議会関係	三重県議会議長	青木 謙順	日沖 正信
	市町関係	三重県市長会会長	竹上 真人	櫻井 義之
	市町関係	三重県町村会会長	西田 健	谷口 友見
監 事	県関係	三重県出納局副局長兼出納総務課長	下田 二一	紀平 益美

## 三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過

年月日	内 容
平成23年 11月15日	県、県教育委員会、財団法人三重県体育協会の連名により、文部科学省、公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出しました。
平成24年 1月11日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内々定されました。
平成25年 5月29日	三重県競技力向上対策本部「設立会議」、「第1回本部会議」を開催しました。
6月 3日	三重県競技力向上対策本部「第1回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第1回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月13日	三重県競技力向上対策本部「第1回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
12月16日	三重県競技力向上対策本部「第1回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成26年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第2回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月22日	三重県競技力向上対策本部「第2回本部会議」を開催しました。
10月 1日	三重県競技力向上対策本部「第3回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月13日	三重県競技力向上対策本部「第2回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月19日	三重県競技力向上対策本部「第2回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成27年 3月19日	三重県競技力向上対策本部「第4回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月23日	三重県競技力向上対策本部「第3回本部会議」を開催しました。

9月 4日	三重県競技力向上対策本部「第5回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月4日	三重県競技力向上対策本部「第3回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第3回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月25日	三重県競技力向上対策本部「第3回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
平成28年 3月24日	三重県競技力向上対策本部「第6回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第4回本部会議」を開催しました。
7月20日	公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内定されました。
9月14日	三重県競技力向上対策本部「第7回競技力向上対策委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第4回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第4回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月22日	三重県競技力向上対策本部「第4回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
平成29年 3月23日	三重県競技力向上対策本部「第8回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月18日	三重県競技力向上対策本部「第5回本部会議」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第5回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第5回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第5回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月20日	三重県競技力向上対策本部「第9回競技力向上対策委員会」を開催しました。

平成30年 3月14日	三重県競技力向上対策本部「第10回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月16日	三重県競技力向上対策本部「第6回本部会議」を開催しました。
7月18日	公益財団法人日本スポーツ協会理事会にて、2021年第76回国民体育大会の開催地として正式に決定されました。
10月23日	三重県競技力向上対策本部「第6回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第6回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
10月31日	三重県競技力向上対策本部「第6回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月16日	三重県競技力向上対策本部「第11回競技力向上対策委員会」を開催しました。
平成31年 3月18日	三重県競技力向上対策本部「第12回競技力向上対策委員会」を開催しました。
4月16日	三重県競技力向上対策本部「第7回本部会議」を開催しました。
令和元年 10月28日	三重県競技力向上対策本部「第7回ジュニア・少年選手強化専門委員会」を開催しました。
10月30日	三重県競技力向上対策本部「第7回企業等連絡調整専門委員会」を開催しました。
11月 1日	三重県競技力向上対策本部「第7回成年選手強化専門委員会」を開催しました。
11月21日	三重県競技力向上対策本部「第13回競技力向上対策委員会」を開催しました。
令和2年 2月20日	三重県競技力向上対策本部「第14回競技力向上対策委員会」を開催しました。
6月 1日	三重県競技力向上対策本部「第8回本部会議」を開催しました。
令和3年 3月18日	三重県競技力向上対策本部「第15回競技力向上対策委員会」を開催しました。

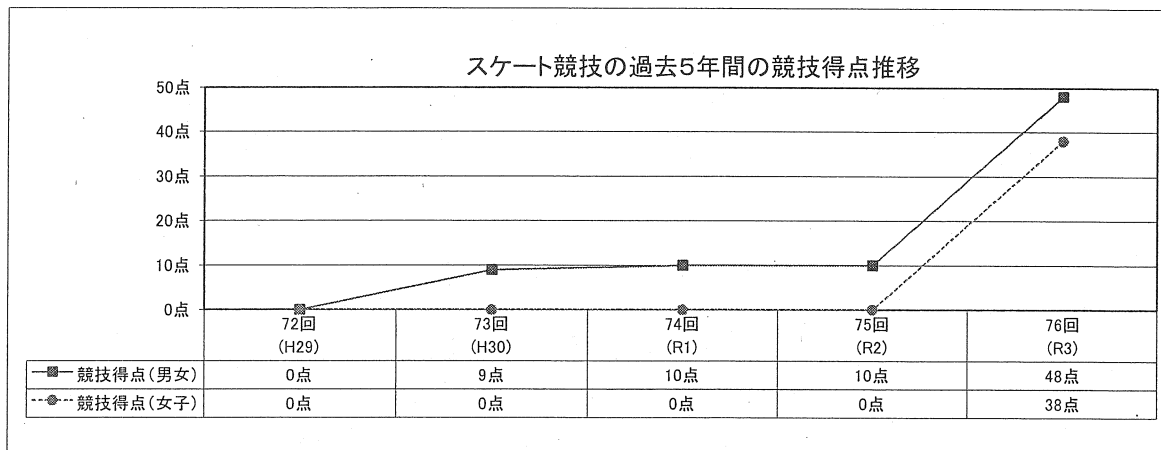
## 第76回国民体育大会冬季大会 三重県選手団報告

### 1. スケート競技会・アイスホッケー競技会 入賞一覧

#### 個人種目

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属 《ふるさと登録》	得点
1	スケート (スピード)	成年女子	1500m	小坂 凜	(公財)三重県スポーツ協会	8点
	スケート (スピード)	成年女子	3000m	小坂 凜	(公財)三重県スポーツ協会	8点
2	スケート (スピード)	成年男子	1000m	松井 友汰	(公財)三重県スポーツ協会	7点
	スケート (スピード)	成年女子	1000m	加藤 梨乃	(公財)三重県スポーツ協会	7点
3	スケート (スピード)	成年女子	1500m	富田 裕香	(公財)三重県スポーツ協会	6点
4	スケート (スピード)	成年女子	3000m	富田 裕香	(公財)三重県スポーツ協会	5点
5	スケート (スピード)	成年女子	500m	加藤 梨乃	(公財)三重県スポーツ協会	4点
6	スケート (スピード)	成年男子	1000m	辻本 一史	(公財)三重県スポーツ協会	3点

冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会	男女総合成績(天皇杯)順位	17位
	競技得点	48点
	得点合計(参加点含む)	68点
	女子総合成績(皇后杯)順位	8位
	競技得点	38点
	得点合計(参加点含む)	48点



### 2. スキー競技会の中止について

令和3年2月に秋田県鹿角市で開催する予定であったスキー競技会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、安全・安心な大会開催が困難となったため、中止となりました。

この結果、中止となったスキー競技会の成績は、すべて空位となりました。

第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会  
都道府県別総合成績一覧表

令和3年1月31日現在

番号	都道府県	男女総合成績(天皇杯)									女子総合成績(皇后杯)			
		得点合計	順位	スケート			アイスホッケー			得点合計	順位	スケート		
				競技得点	参加得点	合計	競技得点	参加得点	合計			競技得点	参加得点	
1	北海道	293	1	193	10	203	80	10	90	100	2	90	10	
2	青森県	92	11	37	10	47	35	10	45	19	21	9	10	
3	岩手県	77	12	57	10	67	0	10	10	47	9	37	10	
4	宮城県	59	20	9	10	19	30	10	40	19	21	9	10	
5	秋田県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	
6	山形県	94	10	74	10	84	0	10	10	47	9	37	10	
7	福島県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	
8	茨城県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	
9	栃木県	62	19	42	10	52	0	10	10	22	18	12	10	
10	群馬県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	
11	埼玉県	135	4	55	10	65	60	10	70	37	12	27	10	
12	千葉県	74	15	24	10	34	30	10	40	28	15	18	10	
13	東京都	99	9	54	10	64	25	10	35	43	11	33	10	
14	神奈川県	123.5	6	96	10	106	7.5	10	17.5	65	3	55	10	
15	山梨県	76	14	56	10	66	0	10	10	49	7	39	10	
16	新潟県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	
17	長野県	205	2	185	10	195	0	10	10	104	1	94	10	
18	富山県	47	22	27	10	37	0	10	10	26	16	16	10	
19	石川県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	
20	福井県	36	24	16	10	26	0	10	10	12	23	2	10	
21	静岡県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	
22	愛知県	144	3	114	10	124	10	10	20	62	4	52	10	
23	三重県	68	17	48	10	58	0	10	10	48	8	38	10	
24	岐阜県	77	12	57	10	67	0	10	10	20	20	10	10	
25	滋賀県	52.5	21	15	10	25	17.5	10	27.5	10	25	0	10	
26	京都府	65	18	45	10	55	0	10	10	37	12	27	10	
27	大阪府	120	7	65	10	75	35	10	45	33	14	23	10	
28	兵庫県	128	5	108	10	118	0	10	10	50	6	40	10	
29	奈良県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	
30	和歌山県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0	
31	鳥取県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	
32	島根県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	
33	岡山県	69	16	49	10	59	0	10	10	26	16	16	10	
34	広島県	21	26	1	10	11	0	10	10	11	24	1	10	
35	山口県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0	
36	香川県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0	
37	徳島県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0	
38	愛媛県	39	23	19	10	29	0	10	10	22	18	12	10	
39	高知県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0	
40	福岡県	107	8	62	10	72	25	10	35	53	5	43	10	
41	佐賀県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0	
42	長崎県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0	
43	熊本県	24	25	4	10	14	0	10	10	10	25	0	10	
44	大分県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0	
45	宮崎県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0	
46	鹿児島県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0	
47	沖縄県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10	

第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会  
都道府県別総合成績一覧表(天皇杯順位)

令和3年1月31日現在

番号	都道府県	男女総合成績(天皇杯)								女子総合成績(皇后杯)			
		得点合計	順位	スケート			アイスホッケー			得点合計	順位	スケート	
				競技得点	参加得点	合計	競技得点	参加得点	合計			競技得点	参加得点
1	北海道	293	1	193	10	203	80	10	90	100	2	90	10
17	長野県	205	2	185	10	195	0	10	10	104	1	94	10
22	愛知県	144	3	114	10	124	10	10	20	62	4	52	10
11	埼玉県	135	4	55	10	65	60	10	70	37	12	27	10
28	兵庫県	128	5	108	10	118	0	10	10	50	6	40	10
14	神奈川県	123.5	6	96	10	106	7.5	10	17.5	65	3	55	10
27	大阪府	120	7	65	10	75	35	10	45	33	14	23	10
40	福岡県	107	8	62	10	72	25	10	35	53	5	43	10
13	東京都	99	9	54	10	64	25	10	35	43	11	33	10
6	山形県	94	10	74	10	84	0	10	10	47	9	37	10
2	青森県	92	11	37	10	47	35	10	45	19	21	9	10
3	岩手県	77	12	57	10	67	0	10	10	47	9	37	10
24	岐阜県	77	12	57	10	67	0	10	10	20	20	10	10
15	山梨県	76	14	56	10	66	0	10	10	49	7	39	10
12	千葉県	74	15	24	10	34	30	10	40	28	15	18	10
33	岡山県	69	16	49	10	59	0	10	10	26	16	16	10
23	三重県	68	17	48	10	58	0	10	10	48	8	38	10
26	京都府	65	18	45	10	55	0	10	10	37	12	27	10
9	栃木県	62	19	42	10	52	0	10	10	22	18	12	10
4	宮城県	59	20	9	10	19	30	10	40	19	21	9	10
25	滋賀県	52.5	21	15	10	25	17.5	10	27.5	10	25	0	10
18	富山県	47	22	27	10	37	0	10	10	26	16	16	10
38	愛媛県	39	23	19	10	29	0	10	10	22	18	12	10
20	福井県	36	24	16	10	26	0	10	10	12	23	2	10
43	熊本県	24	25	4	10	14	0	10	10	10	25	0	10
34	広島県	21	26	1	10	11	0	10	10	11	24	1	10
5	秋田県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
7	福島県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
8	茨城県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
10	群馬県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
16	新潟県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
19	石川県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
21	静岡県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
29	奈良県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
31	鳥取県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
32	島根県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
35	山口県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0
36	香川県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0
37	徳島県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0
44	大分県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0
46	鹿児島県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0
47	沖縄県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
30	和歌山県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0
39	高知県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0
41	佐賀県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0
42	長崎県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0
45	宮崎県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0

第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会  
都道府県別総合成績一覧表(皇后杯順位)

令和3年1月31日現在

番号	都道府県	男女総合成績(天皇杯)							女子総合成績(皇后杯)				
		得点合計	順位	スケート			アイスホッケー			得点合計	順位	スケート	
				競技得点	参加得点	合計	競技得点	参加得点	合計			競技得点	参加得点
17	長野県	205	2	185	10	195	0	10	10	104	1	94	10
1	北海道	293	1	193	10	203	80	10	90	100	2	90	10
14	神奈川県	123.5	6	96	10	106	7.5	10	17.5	65	3	55	10
22	愛知県	144	3	114	10	124	10	10	20	62	4	52	10
40	福岡県	107	8	62	10	72	25	10	35	53	5	43	10
28	兵庫県	128	5	108	10	118	0	10	10	50	6	40	10
15	山梨県	76	14	56	10	66	0	10	10	49	7	39	10
23	三重県	68	17	48	10	58	0	10	10	48	8	38	10
3	岩手県	77	12	57	10	67	0	10	10	47	9	37	10
6	山形県	94	10	74	10	84	0	10	10	47	9	37	10
13	東京都	99	9	54	10	64	25	10	35	43	11	33	10
11	埼玉県	135	4	55	10	65	60	10	70	37	12	27	10
26	京都府	65	18	45	10	55	0	10	10	37	12	27	10
27	大阪府	120	7	65	10	75	35	10	45	33	14	23	10
12	千葉県	74	15	24	10	34	30	10	40	28	15	18	10
18	富山県	47	22	27	10	37	0	10	10	26	16	16	10
33	岡山県	69	16	49	10	59	0	10	10	26	16	16	10
9	栃木県	62	19	42	10	52	0	10	10	22	18	12	10
38	愛媛県	39	23	19	10	29	0	10	10	22	18	12	10
24	岐阜県	77	12	57	10	67	0	10	10	20	20	10	10
2	青森県	92	11	37	10	47	35	10	45	19	21	9	10
4	宮城県	59	20	9	10	19	30	10	40	19	21	9	10
20	福井県	36	24	16	10	26	0	10	10	12	23	2	10
34	広島県	21	26	1	10	11	0	10	10	11	24	1	10
5	秋田県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
7	福島県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
8	茨城県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
10	群馬県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
16	新潟県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
19	石川県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
21	静岡県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
25	滋賀県	52.5	21	15	10	25	17.5	10	27.5	10	25	0	10
29	奈良県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
31	鳥取県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
32	島根県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
43	熊本県	24	25	4	10	14	0	10	10	10	25	0	10
47	沖縄県	20	27	0	10	10	0	10	10	10	25	0	10
30	和歌山県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0
35	山口県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0
36	香川県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0
37	徳島県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0
39	高知県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0
41	佐賀県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0
42	長崎県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0
44	大分県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0
45	宮崎県	10	43	0	0	0	0	10	10	0		0	0
46	鹿児島県	20	27	0	10	10	0	10	10	0		0	0



## 【 令和2年度補正予算の専決処分 】

## 三重県競技力向上対策本部 令和2年度補正予算

## 1 収入

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正予算額	補正予算の内容	補正後予算額
負担金	354,314	0		354,314
収入合計	354,314	0		354,314

## 2 支出

(単位:千円)

科目	当初予算額	補正予算額	補正予算の内容	補正後予算額	
事業費	会議費	4,393	△ 1,650	会議回数の減等により 所要見込額を精査	2,743
	チームみえジュニア 指定、保護者・研修プ ログラム事業	2,000	△ 850	指定証交付式の中止等により 所要見込額を精査	1,150
	トップジュニア育成事 業	7,500	△ 1,300	指定選手数の減等により 所要見込額を精査	6,200
	チームみえ国体選手 強化事業	224,231	19,200	12月以降の追加支援を見込む	243,431
	女性アスリートタレン ト発掘・育成事業	10,000	△ 4,700	国内外キャンプの中止等により 所要見込額を精査	5,300
	大学運動部、企業・ク ラブチーム強化指定 事業	28,000	2,900	12月以降の追加支援を見込む	30,900
	オリンピック等選手強 化指定事業	2,800	△ 450	指定選手数の減等により 所要見込額を精査	2,350
	トップアスリート応援 事業	7,400	△ 1,200	指定選手数の減等により 所要見込額を精査	6,200
	みえのアスリート応 援・発信事業	3,500	0		3,500
	チームみえ・コーチア カデミーセンター事業	64,475	△ 11,950	マルチサポートの見込み減、 県外研修の見込み減等により 所要見込額を精査	52,525
事務局費	15	0		15	
支出合計	354,314	0		354,314	

## 三重県競技力向上対策本部第15回競技力向上対策委員会に係る概要

令和3年3月18日(木)

プラザ洞津 末広の間

## ○審議事項について

- ・特になし

## ○協議事項について

- ・獲得目標について競技ごと、種別ごとに精査されており良い。現状の見込みを合計すると目標の2700点超えるということで、このまま順調に行くと天皇杯・皇后杯を獲得できるだけの手応えがあるということか。
- ・戦力をどのように分析するかは国立スポーツ科学センターでも課題ではある。楽観的な数値から7割くらいが実際の結果になることが多い。楽観的に出しすぎても厳しく出しすぎてもよくない部分はある。
- ・残り半年なので、これからは強化よりもコンディショニングを重視し、しっかりと力を発揮させるサポートを充実させる必要がある。
- ・地元だから良いこともあるが、逆に地元だからこそ良くない影響が出る場合もある。リオオリンピックでは約半日の時差があるのでかなりの対策を練って構えて臨んだ結果、過去最高の結果が出た。地元開催だからと言って油断せず、しっかりと対策を練って挑む必要がある。
- ・メンタルコーチの活用について、重要だと考えているが、具体的な事例を教えてください。
- ・これからの時期はコンディショニングが重要である。東京オリンピックが2021年に延期となったことで、オリンピックから国体までの期間が非常に短くなってしまったため、コンディションを整えるためにできる限りのサポートをお願いしたい。
- ・剣道競技では比較的年齢が高い人も選手として活躍するため、コンディショニングは非常に重要であるが、現在はトレーナーがついておらず、自分で整骨院等に通い、そこで学んだことをセルフで実践している。現場にトレーナーの配置をしていただきたい。
- ・企業で雇用しているアスリートが、今後強化合宿等で遠征に行く機会が増えることが予想される。職場内で理解は進んでいるが、企業のトップ等に文書等で県からの協力依頼等があるとより理解が進むのではないか。
- ・試合の直前に新型コロナウイルスの感染者が出た場合の出場可否の判断についてはどのようにするのか。
- ・新型コロナウイルスについて徹底的な対策が必要である。たとえ1日前にPCR検査が陰性でも完全に安心できるものではなく、それでもクラスターが発

生してしまった例もある。合宿練習ではなく通いの練習に変更することや集合型のミーティングではなくオンラインでのミーティングにする、控えの選手は正選手とは行動を別にするなど対策は徹底すべき。

- ・国体が開催されるかどうかという不安はあると思うが、開催できるかどうかではなく、開催するために何をするのかが大事。本委員会の委員として、それを周りに伝えていくべきである。そのうえで、対策をどうしていくのかを各競技で検討する必要がある。
- ・競技力向上対策費は2年連続で8億円を超えており、他県よりかなり多い状況である。この強化費をどのように活かし結果を出すのかを十分に考える必要がある。チームみえとして心をひとつにして、天皇杯・皇后杯に向かっていく必要がある。

令和3年度競技力向上対策事業

	事業名	対象
①	チームみえジュニア育成事業	ジュニア・少年選手
②	ジュニアクラブ・運動部強化指定事業	
③	三重とこわか国体少年選手強化指定事業	
④	高等学校運動部強化指定事業	
⑤	チームみえスーパージュニア強化指定事業	
⑥	女性アスリートタレント発掘・育成事業	
⑦	トップアスリート応援事業	
⑧	チームみえ国体選手強化事業	少年・成年選手共通
⑨	女性アスリートサポート事業	
⑩	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	成年選手
⑪	オリンピック等選手強化指定事業	
⑫	トップアスリート就職支援事業	
⑬	スポーツ指導員配置事業	指導者
⑭	ディレクター配置事業	
⑮	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	
⑯	競技用具等整備事業	環境整備
⑰	みえのアスリート応援・発信事業	広報啓発

## チームみえジュニア育成事業 実施方針

令和3年度当初予算【24,700千円】

### 1 目的

三重とこわか国体後に少年種別での活躍が期待できる選手を「チームみえジュニア」とする。チームみえジュニアの育成・強化を目指し、その活動を支援することで、長期的な競技力の向上を図ることを目的とする。

### 2 対象

三重県スポーツ協会加盟の国民体育大会正式競技である競技団体とする。

### 3 実施内容

- (1) 各競技団体が取り組む、「チームみえジュニア」の活動を支援するため、必要な経費を配分する。
- (2) 強化費の配分については、各競技団体の強化計画等に応じた配分をする。その他、必要に応じてヒアリング等により調整を行う。
- (3) チームみえジュニアの育成・強化に対して実施する強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

- |       |           |
|-------|-----------|
| 4月    | 強化費の配分額決定 |
| 4月～3月 | 強化活動支援    |

## ジュニアクラブ・運動部強化指定事業 実施方針

令和3年度当初予算【4,500千円】

### 1 目的

今後の国民体育大会等において、少年種別の中心となる選手の育成・強化を目指し、その強化活動を支援し、競技力の向上を図ることを目的とする。

### 2 対象

国民体育大会の正式競技で、三重とわか国体の少年種別での活躍が見込まれるターゲットエイジを育成した実績などを有し、今後も将来の少年種別を担う選手の育成の拠点となることが見込まれるジュニアクラブ・運動部。

### 3 実施内容

- (1) 強化指定の決定については、別途定める「ジュニアクラブ・運動部強化指定事業選考要領」において、三重県競技力向上対策本部が行う。
- (2) 指定については、令和3年4月から令和4年3月までの単年度指定とする。
- (3) 全国大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、指導者の報償費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| 4月    | ジュニアクラブ・運動部強化指定の決定 |
| 4月～3月 | 強化活動支援             |

## ジュニアクラブ・運動部強化指定事業選考要領

### 1 目的

この要領は、三重県競技力向上対策本部が「ジュニアクラブ・運動部強化指定事業」に係る指定ジュニアクラブ・運動部を選考するために、必要な事項を定めるものとする。

### 2 選考

選考は、三重県競技力向上対策本部事務局の原案に基づき、三重県競技力向上対策委員会の委員が行うものとする。

#### (1) 選考基準

- ① 国民体育大会の正式競技で、全国大会での活躍を目指しジュニア選手の育成・強化を担うジュニアクラブ・運動部
- ② 三重とこわか国体における少年種別での活躍が見込まれるターゲットエイジとなる選手の育成・強化した実績などを有し、今後も将来の少年種別を担う選手の育成・強化の拠点となることが見込まれるジュニアクラブ・運動部。

#### (2) 選考方法

選考委員は、指定候補のジュニアクラブ・運動部が、これまでの国民体育大会での活躍や三重とこわか国体における少年種別の候補となる選手の実績や今後の活躍を総合的に判断し、選考を行うこととする。

令和3年度強化指定ジュニアクラブ・運動部

ジュニアクラブ・運動部名	競技名（種目名）
三重ダイビングクラブ	水泳（飛込）
みえA.S.C	水泳（A.S）
三重グリーンテニスクラブ	テニス
宮川ボートクラブ	ボート
相好体操クラブ	体操（競技）
四日市メリノール学院中学校女子バスケットボール部	バスケットボール
I N A B Eレスリングアカデミー	レスリング
みえウエイトリフティングジュニアクラブ	ウエイトリフティング
松生TTC	卓球
21クラブ	
津相撲クラブ	相撲
鳥羽フェンシングクラブ	フェンシング
KO-WALL三重	スポーツクライミング
三重武道館クラブ	なぎなた
鈴鹿ジュニアボウリングクラブ	ボウリング

15クラブ



## 三重とこわか国体少年選手強化指定事業 実施方針

令和3年度当初予算【1, 200千円】

### 1 目的

三重とこわか国体における少年種別の選手として活躍が期待できる中・高校生を「チームみえ強化指定選手」として指定することで選手の意識醸成を図ることを目的とする。

### 2 対象

三重とこわか国体で活躍が期待できる少年種別の選手となる中・高校生とする。

### 3 実施内容

指定証の交付。

#### (1) 指定期間

令和3年4月から令和4年3月までとする。

#### (2) 指定方法

各競技団体と三重県競技力向上対策本部が協議を行ったうえで、三重県競技力向上対策本部にて決定する。

### 4 年間計画

4月 指定選手の協議

指定選手の決定及び指定証の交付

## 高等学校運動部強化指定事業 実施方針

令和3年度当初予算【29,000千円】

### 1 目的

国民体育大会などの全国・国際スポーツ競技大会において活躍するトップアスリートの育成を目指して、育成・強化の中心となることが期待できる高等学校運動部を指定し、強化活動を支援することで、高校生アスリートの競技力向上を図ることを目的とする。

### 2 対象

次のいずれかに該当する高等学校運動部を対象とする。

- (1) 国民体育大会の正式競技であり、三重県高等学校体育連盟（以下、「県高体連」という。）に加盟する競技専門部、または三重県体育協会に加盟する競技団体（以下、「県競技団体」という。）に所属する高等学校運動部。
- (2) 三重県高等学校野球連盟（以下、「県高野連」という。）に所属する高等学校硬式野球部。

### 3 実施内容

#### (1) 指定期間

- ① 指定期間は、三重県競技力向上対策基本方針に基づき、次の3期とする。
  - ・第1期：平成26年度～平成27年度（基盤・体制づくり期）
  - ・第2期：平成28年度～平成30年度（育成期）
  - ・第3期：令和元年度～令和3年度（躍進期）
- ② 指定を受けた高等学校運動部は、原則として、最終年度まで継続して指定し、各期の最終年度に、見直すこととする。
- ③ 指定期間内であっても、三重県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）が必要と認めた場合は、指定する高等学校運動部の追加、または指定の取り消しを行うことがある。

④ 硬式野球競技については、単年度の指定とする。

## (2) 指定方法

対策本部は、県高体連、または県高体連に競技専門部がない競技については、県競技団体から推薦を受けた高等学校運動部を指定候補として、三重県教育委員会(以下「県教委」という。)と協議したうえで、次のように指定する。

① 指定候補について、活動状況や国体強化の中心となる位置づけ、ターゲットエッジの活動が見込める運動部かを判断する。

なお、指定候補であっても、活動状況や大会における実績等から、この方針の目的に合致しないと判断する場合は、指定しないことがある。

② 指定候補以外でも、この方針の目的に合致すると認められる高等学校運動部を県高体連及び県競技団体等と協議のうえ、指定することができる。

なお、硬式野球競技については、県高野連から、令和3年度の全国大会において活躍が期待できる高等学校硬式野球部の推薦を受け、対策本部が県教委と協議したうえで、「高等学校硬式野球特別指定運動部」として指定する。

③ 強化活動の支援の配分については、指定決定後、競技力向上対策本部が活動状況、令和3年の国民体育大会における有力選手の状況を調査したうえで令和3年4月に決定する。

## (3) 補助対象

強化指定運動部に対して、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費に対する補助を予算の範囲内で行う。

## 4 年間計画

2月下旬 強化指定運動部の決定

4月～5月 指定証交付式

4月～3月 強化活動の支援

令和3年度高等学校強化指定運動部

	競技名	強化指定運動部	
		男子	女子
1	陸上競技	宇治山田商業	
		四日市工業	松阪商業
		近大高専	
		伊賀白鳳	
2	水泳(競泳)	皇學館	
	水泳(飛込)	津田学園	
	水泳(水球)	尾鷲	
	水泳(AS)	—	—
	サッカー	四日市中央工業	—
4	テニス	四日市工業	四日市商業
5	ボート	相可	
6	ホッケー	—	津商業
7	ボクシング	久居	—
		明野	—
8	バレーボール	松阪工業	津商業 三重
9	体操(競技)	暁	
	体操(新体操)	—	—
10	バスケットボール	四日市工業	四日市商業
		津工業	いなべ総合学園
11	レスリング	いなべ総合学園	
12	セーリング	朝明	—
		津工業	
13	ウエイトリフティング	亀山	
		四日市工業	—
		四日市中央工業	—
14	ハンドボール	四日市工業	四日市商業
15	自転車	朝明	—
16	ソフトテニス	三重	三重
17	卓球	高田	高田
		白子	白子
18	相撲	宇治山田商業	—
19	馬術	高田	
20	フェンシング	海星	津東
21	柔道	四日市中央工業	高田
		名張	名張
22	ソフトボール	四日市工業	伊勢学園
		—	津商業
23	バドミントン	伊勢工業	皇學館
		暁	—
24	弓道	松阪工業	亀山
25	ライフル射撃	久居	
26	剣道	三重	白子
		朝明	四日市メリノール学院
27	ラグビーフットボール	四日市工業	—
28	スポーツクライミング	—	—
29	カヌー	桑名西	
30	アーチェリー	四日市四郷	
31	空手道	—	四日市商業
32	銃剣道	皇學館	—
33	クレー射撃	—	—
34	なぎなた	—	稲生
35	ボウリング	—	—
36	ゴルフ	津田学園	
37	スケート	—	—
38	アイスホッケー	—	—
39	スキー	—	—
40	軟式野球	高田	—
41	硬式野球	三重	—

計

32校71部

## チームみえスーパージュニア強化指定事業 実施方針

令和3年度当初予算【9,100千円】

### 1 目的

県民からの寄附金を財源として、全国大会等で優秀な成績を収め、将来、国民体育大会やオリンピック等の大規模な大会で活躍が期待できるジュニア選手を対象に、強化活動を支援することにより、選手の育成・強化を図ることを目的とする。

### 2 対象

国民体育大会やオリンピックの正式種目で、国内外の大規模な大会で活躍が期待できる本県の中学・高等学校に在籍する選手および本県出身の19歳以下の選手\*1とする。

### 3 実施内容

#### (1) 強化選手の指定

三重県競技力向上対策本部長（知事）は、競技団体の推薦を受けて、将来、国民体育大会やオリンピックの大規模な大会で活躍が期待できる本県の中学・高等学校に在籍する選手および本県出身の19歳以下の選手\*1を強化指定する。

#### (2) 補助対象

指定選手に対しては、全国大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

6月 第1次強化指定選手の推薦・選定・決定

9月 第2次強化指定選手の推薦・選定・決定

\*1 4月1日時点の年齢とし、本県の小学校、中学校、高等学校のいずれかを卒業した者。原則として、学生アスリートとする。

## チームみえスーパージュニア指定候補選手推薦要領

### 1 対象

国民体育大会やオリンピックの正式種目で、国内外の大規模な大会で活躍が期待できる本県の中学・高等学校に在籍する選手および本県出身の19歳以下の選手\*<sup>1</sup>とする。

### 2 推薦基準

全国大会で優秀な成績を収め、今後も全国大会や国際大会などの大規模な大会において活躍が期待でき、次の基準のいずれかを満たしている選手とする。

#### (1) 中学・高校生枠（本県の中学・高等学校に在籍する選手）

- ① 令和2年度もしくは令和3年度の全国大会\*<sup>2</sup>で優勝、または、令和2年度の国際大会\*<sup>3</sup>で3位入賞以上の実績があり、令和3年度に日本代表として国際大会\*<sup>3</sup>への出場が決定（内定）している選手。
- ② 団体競技は、令和3年度に日本代表として、国際大会\*<sup>3</sup>に出場するなど、顕著な活躍が見られる選手。
- ③ この他、特に顕著な実績を収めた場合は、三重県競技力向上対策本部が別途指定する。

#### (2) U20枠（本県の小学校、中学校、高等学校のいずれかを卒業した19歳以下の選手\*<sup>1</sup>）

- ① 令和2年度に開催された全日本選手権大会において3位以上の成績を収めた選手。
- ② 令和2年度に開催された全国高等学校総合体育大会および国民体育大会において優勝した選手。
- ③ 令和2年度に開催された国際大会\*<sup>3</sup>で3位以上の成績を収めており、かつオリンピックや三重とこわか国体において入賞が狙える。
- ④ この他、特に顕著な実績を収めた場合は、三重県競技力向上対策本部が別途指定する。

\* 1 4月1日時点の年齢とし、本県の小学校、中学校、高等学校のいずれかを卒業した者。原則として、学生アスリートとする。

\* 2 全国大会

① 国民体育大会

② 全国中学校体育大会、ジュニアオリンピック

③ 全国高等学校総合体育大会

全国高等学校選抜選手権大会

④ ①・②・③と同じレベルと認められる大会

\* 3 国際大会

① 世界ジュニア・ユース大会、  
アジアジュニア・ユース大会

② ①と同じレベルと認められる大会

### 3 推薦方法

(1) 各競技団体は、上記2の推薦基準を満たした選手を三重県競技力向上対策本部に推薦することができる。

(2) 県内に競技団体がないオリンピック正式種目は、上記2の推薦基準を満たした選手を所属する団体（クラブチーム等）が、三重県競技力向上対策本部に推薦することができる。

### 4 その他

指定選手の選考については、各競技団体等の推薦があった選手をもとに、競技実績・活動状況等により、三重県競技力向上対策委員会で行う。

## 女性アスリートタレント発掘・育成事業 実施方針

令和3年度当初予算【10,000千円】

### 1 目的

優れた資質を有する女子小中学生を発掘し、様々なプログラムを通じて育成することで、国民体育大会をはじめとした国内大会やオリンピック、ワールドカップなどの国際大会において活躍することができるアスリートの輩出を目的とする。

また、トップアスリートに必要な資質である高い意識や行動力を培うことで、社会生活の様々な場面でリーダーとして活躍できる人材として育成を図ることを目的とする。

### 2 対象（競技）

女子ラグビーフットボール競技、女子自転車競技の2競技とする。

### 3 実施内容

- (1) 三重県競技力向上対策本部が県関係者、市町関係者、スポーツ団体関係者、学識経験者、競技団体関係者（中央競技団体、県競技団体）、日本スポーツ振興センター等と連携した運営委員会を行うとともに、プログラム部会と選考部会を行う。
- (2) 運営委員会にて、事業の内容及び計画及びタレントの選考等を決定する。
- (3) プログラム部会にて、育成プログラムの内容及び計画等を決定する。
- (4) 選考部会にて、オーディションの実施及びタレントの選考原案の作成を行う。
- (5) 実施競技団体は事務局と連携し、主体的に事業を実施する。

### 4 年間計画

- |     |  |
|-----|--|
| 6月  | 運営委員会（来年度実施事業の検討）                          |
| 8月  | タレントの募集開始（～11月上旬）                          |
| 11月 | オーディション実施                                  |
| 12月 | 選考部会、プログラム部会、運営委員会<br>「年間事業計画の決定」「タレントの決定」 |
| 1月  | 認定証授与式、修了式                                 |
- ※週2～3回程度の専門プログラムの継続実施  
※年20コマ程度の教育・育成プログラムの継続実施



## トップアスリート応援事業「三重県民共済基金」 実施方針

令和3年度当初予算【3,600千円】

### 1 目的

三重とこわか国体をはじめとする全国大会で活躍するという強い意志を持って、三重県内の高等学校に入学した少年選手に対し給付金を支援することで、安定した強化活動を支えることを目的とする。

### 2 対象

令和元年度に指定した選手で、三重とこわか国体で実施される正式競技に、意欲や熱意をもって取り組むことができるとともに、三重とこわか国体や今後の三重県における競技スポーツ推進の担い手として貢献することが期待できる選手。

### 3 実施内容

給付金の給付

給付金の給付は、三重県民共済生活協同組合からの寄付金を財源に実施する。各認定選手への給付は月額制とし、令和4年3月まで給付する。

### 4 年間計画

4月 給付継続

3月 活動報告を確認

## トップアスリート応援事業 「とこわか募金」実施方針

令和3年度当初予算【3,800千円】

### 1 目的

三重とこわか国体をはじめとする全国大会で活躍するという強い意志を持って、三重県内の高等学校に入学した少年選手に対し給付金を支援することで、安定した強化活動を支えることを目的とする。

### 2 対象

三重とこわか国体で実施される正式競技に、意欲や熱意をもって取り組むことができるとともに、三重とこわか国体や今後の本県における競技スポーツ推進の担い手として貢献することが期待でき、転居をともなって令和2年4月または令和3年4月に県内の高等学校に入学した選手。

### 3 実施内容

#### (1) 令和3年度対象選手の推薦募集

各競技団体は、対象選手を三重県競技力向上対策本部に設置する選考委員会（以下、「選考委員会」という）に別紙推薦要領に基づき推薦することができる。ただし、県内出身選手の推薦は男女各1名を限度とする。

#### (2) 対象選手の選考

選考については、各競技団体からの提出書類を基に、選考委員会において行う。  
なお、選考委員については、三重県競技力向上対策本部事務局が委嘱する。

#### (3) 給付金の給付

給付金は月額制とし、令和2年度認定選手は令和2年4月から3年間、令和3年度認定選手は令和3年4月から3年間給付する。

### 5 年間計画

#### (1) 令和2年度認定選手

- 4月 継続給付
- 3月 活動報告を確認

#### (2) 令和3年度認定選手

- 3月 競技団体を通じて対象選手の推薦  
選考委員会において対象選手を選考
- 4月 給付開始  
認定証授与式

## 令和3年度トップアスリート応援事業「とこわか募金」指定選手推薦要領

### 1 対象

三重とこわか国体で実施される正式競技に、意欲や熱意をもって取り組むことができるとともに、三重とこわか国体や今後の本県における競技スポーツ推進の担い手として貢献することが期待でき、転居をともなって令和3年4月に三重県内の高等学校に入学する選手。

### 2 推薦基準

三重とこわか国体をはじめとする全国大会において少年種別の中心選手として、活躍が期待できる選手とする。

- (1) 三重とこわか国体で実施される少年種別の正式競技の選手であり、転居をともなって令和3年4月に入学する選手。
- (2) 三重とこわか国体における目標達成に向けて、各競技団体に必要な選手であり、今後の競技力向上が見込める選手。
- (3) 三重とこわか国体に向けて意欲的に取り組むことができる選手。

### 3 募集人数

数名程度

### 4 推薦方法

各競技団体は、上記2の推薦基準を満たす選手を、選考委員会に推薦することができる。

### 5 その他

選手の選考については、各競技団体から推薦があった選手の中から、選考委員会が行う。

## チームみえ国体選手強化事業 実施方針

令和3年度当初予算【278,611千円】

### 1 目的

三重とこわか国体において天皇杯・皇后杯を獲得するため、活躍が期待できる本県代表選手（チームみえ）に対し、重点的な強化に取り組むことを目的とする。

### 2 対象

三重県スポーツ協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体とする。

### 3 実施内容

- (1) 競技団体ヒアリングをもとに、評価基準に示した戦力、指導体制、強化計画、組織力について総合的に判断し、三重とこわか国体における競技成績の見込や強化計画等に鑑み、強化費を配分して競技団体が実施する強化活動を支援する。
- (2) 支援期間は一年間とするが、本国体までの強化活動を重点的に支援する。
- (3) 各競技団体は、三重とこわか国体での目標が達成にむけ、計画的・戦略的に強化活動を進めることとする。
- (4) 支援する経費は、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料及び賃借料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費、全国トップレベルのチームの招聘に係る経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費とする。

### 4 年間計画

- |        |  |
|--------|--|
| 4月     | 配分額の通知、交付申請書の提出<br>実施事業の支援（4月～本国体）                       |
| 9月～10月 | 競技成績による強化活動の検証と第77回国民体育大会に向けての活動計画の作成<br>実施事業の支援（本国体～3月） |

## 女性アスリートサポート事業 実施方針

令和3年度当初予算【700千円】

### 1 目的

女性アスリートが競技を継続して取り組めるよう、女性特有の諸課題について女性アスリート、指導者及び保護者など関係者が知識習得や意識向上を図ることで、サポート体制の構築を図ることを目的とする。

### 2 対象

三重県スポーツ協会加盟団体のうち、国民体育大会の正式競技である競技団体及びその団体に所属する女性アスリート、指導者及び保護者等とする。

### 3 実施内容

女性アスリート、指導者及び保護者向けの研修会を開催し、女性アスリートが継続して競技に取り組むうえでの不安や悩みの解消に繋がる知識習得や意識向上を図る。

### 4 年間計画

5月～2月 女性アスリート、指導者、保護者向けの研修会を実施

## 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業 実施方針

令和3年度当初予算【36,120千円】

### 1 目的

三重とこわか国体において、天皇杯・皇后杯の獲得を目指すため、令和3年に各競技の成年種別で中心となるチームに指定を行い、成年選手の重点的な競技力向上を図ることを目的とする。

### 2 対象

国民体育大会の正式競技に取り組んでいる大学運動部、企業・クラブチーム等（以下、「チーム」という。）とする。

### 3 実施内容

#### (1) 指定期間

令和3年4月から令和4年3月までの期間とする。

#### (2) 指定基準

三重とこわか国体に向けて、競技団体が強化の中心として位置づけ、国民体育大会での活躍が期待できるチーム。ただし、次の①～②に該当するチームで、競技団体が主体となるチームを除く。

- ① 団体競技は、国民体育大会に出場するチーム構成において、中心となる選手が在籍しているチーム。
- ② 個人競技は、複数の選手が在籍するチーム。

#### (3) 指定方法

強化指定チームについては、三重県競技力向上対策本部が所属競技団体と協議を行ったうえで、三重県競技力向上対策委員会において決定する。

#### (4) 補助対象

指定されたチームには、全国大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要なと認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

5月 指定証交付  
随時 強化活動支援

令和3年度大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業に係る強化指定チーム

【強化指定チーム】

	チーム名	競技名
1	AGF陸上競技部	陸上競技
2	NTN陸上競技部	陸上競技
3	デンソー女子陸上長距離部	陸上競技
4	FC. ISE-SHIMA	サッカー
5	伊賀FCくノ一三重	サッカー
6	ヴィアティン三重	サッカー
7	鈴鹿ポイントゲッターズ	サッカー
8	ヴィアティン三重	バレーボール
9	みえ高田VCsala	バレーボール
10	相好体操クラブ	体操
11	Revelize	バスケットボール
12	ヴィアティン三重	バスケットボール
13	三重バイオレットアイリス	ハンドボール
14	エクセディ卓球部	卓球
15	乗馬クラブクレイン東海	馬術
16	名張乗馬クラブ	馬術
17	北勢ライディングファーム	馬術
18	三重県庁クラブ	ソフトボール
19	株式会社安永弓道部	弓道
20	三重県警察	ライフル射撃
21	三重県警察	剣道
22	PEARLS	ラグビーフットボール

## オリンピック等選手強化指定事業 実施方針

令和3年度当初予算【2,200千円】

### 1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートを強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、オリンピック競技大会及び三重とこわか国体等に向けた成年選手の競技力向上を推進することを目的とする。

### 2 対象

三重とこわか国体における正式競技に取り組んでいる20歳以上の大学生（大学院生を含む）で、次に掲げる条件を満たす者とする。

- (1) 「チームみえ」の一員として、三重とこわか国体での活躍が期待できる者。
- (2) オリンピック競技大会や世界選手権大会等の世界大会での活躍が期待できる者。

ただし、オリンピック競技大会の正式競技以外の競技に取り組んでいる選手については、条件（1）のみを満たすこととする。

### 3 実施内容

- (1) 強化指定選手の決定については、別途定める「オリンピック等選手強化指定事業選考要領」において、三重県競技力向上対策本部が行う。
- (2) 指定については、令和3年4月から令和4年3月までの単年度指定とする。
- (3) 補助対象については、全国・国際スポーツ大会での活躍を目的とした強化活動のうち、旅費、宿泊費、消耗品費、施設使用料、大会参加料、外部指導者等の招聘に係る報償費等の経費及び三重県競技力向上対策本部事務局が事業の実施に必要と認めた経費の支援を予算の範囲内で行う。

### 4 年間計画

5月 指定証交付  
随時 強化活動支援



## オリンピック等選手強化指定事業 選考要領

### 1 目的

この要領は、三重県競技力向上対策本部が「オリンピック等選手強化指定事業」に係る強化指定選手を選考するために、必要な事項を定めるものとする。

### 2 選考

選考は、三重県競技力向上対策本部事務局の原案に基づき、三重県競技力向上対策委員会の委員が行うものとする。

#### (1) 選考基準

選考は、「オリンピック等選手強化指定事業実施方針」の目的及び対象を踏まえることとし、選考にあたっては、次の点に留意するものとする。

なお、大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業の指定チームに所属する者、企業等に勤務している者については対象外とする。

##### ① 継続指定枠

令和2年度に指定を行った者で、本県代表選手の一員として令和3年三重とこわか国体において入賞が見込める者。

##### ② 新規指定枠

ア 令和2年度に開催された全日本選手権大会において3位以上の成績を収めた者で、三重県代表選手の一員として三重とこわか国体において入賞が見込める者。

イ 上記大会より上位の大会において、顕著な成績を収めた者についても選考の対象とする。

#### (2) 選考方法

選考委員は、強化指定候補選手について、三重とこわか国体やオリンピック競技大会等での活躍が期待される強化指定候補選手の実績や今後の活躍を総合的に判断し、選考を行うこととする。

なお、決定には、選考委員の過半数の同意を必要とする。

令和3年度オリンピック等選手強化指定事業に係る強化指定選手

	名前	年齢 (学年)	所属	専門競技	指定枠
1	阪本 祐也	21 (4年)	東洋大学	水泳(競泳)	継続
2	岩野 夏帆	21 (4年)	秀明大学	水泳(水球)	継続
3	基山 仁太郎	21 (4年)	日本体育大学	レスリング	継続
4	花井 瑛絵	21 (4年)	至学館大学	レスリング	継続
5	伊藤 陸	20 (専攻科1年)	近畿大学工業高等専門学校	陸上競技	新規
6	永本 聖奈	20 (3年)	至学館大学	レスリング	新規
7	横山 太偉雅	21 (4年)	九州国際大学	ウエイトリフティング	新規

※年齢・学年は令和3年4月1日現在

## トップアスリート就職支援事業 実施方針

令和3年度当初予算【14,330千円】

### 1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者（以下、「トップアスリート等」とする。）に対し、県内企業等への就職支援を行い、社業と競技活動の両立を図りやすい環境を整備することで、成年種別における競技得点を確保し、三重とこわか国体において天皇杯・皇后杯を獲得するとともに、大会終了後も安定した競技力を確保することを目的とする。

### 2 対象選手

国民体育大会の正式競技に取り組んでいる選手またはその指導者で、次に掲げる条件を満たし、採用後は「チームみえ」の一員として同大会において入賞もしくは入賞に導く能力を有する者とする。

国民体育大会や全日本選手権大会もしくはこれらに準ずる大会において、個人競技・団体競技ともに8位以上の成績を収めた成年選手またはその指導者

※本県の成年選手の競技力向上に必要な存在であり、三重県競技力向上対策本部が特別に認めた者については、上記の限りではないこととする。

※成績については、高等学校卒業後のものに限ることとする。

### 3 対象企業

県内に本社または事業所を有し、全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリート等を採用する意思のある企業等とする。

### 4 実施内容

- (1) 就職支援を行ったトップアスリート等が社業と競技活動の両立を図りやすい環境を整備するために、採用企業と調整を行い、課題改善に努める。
- (2) 「三重とこわか国体」終了後も安定した競技力を確保するために、成年選手強化に係る取組を県内企業に説明し、トップアスリート等の採用依頼を行う。
- (3) 求人・求職に係る情報の管理を行う。
- (4) 競技団体から推薦のあったトップアスリート等に対し、書類審査を行う。
- (5) 社業と競技活動の両立が図られるよう、トップアスリート等に対し、面談を行う。
- (6) 企業及びトップアスリート等に有益なマッチングが図られるよう、調整を行う。
- (7) 企業及びトップアスリート等に推薦者・推薦企業の打診を行う。
- (8) 採用選考の調整を行う。
- (9) トップアスリート等が培ってきた知識や経験を発揮するとともに、競技活動にも集中して取り組めるよう、企業に対し、フォローアップを行う。

### 5 年間計画

4月以降、随時、実施内容の取組を進めることとする。

## スポーツ指導員配置事業 実施方針

令和3年度当初予算【298,507千円】

### 1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者（以下、「トップアスリート等」とする。）を競技団体が実施する強化練習や合宿に派遣することで、本県選手の競技力向上を図ること、またトップアスリート等として国民体育大会の成年種別の競技得点を獲得することを目的とする。

### 2 対象

「三重とこわか国体」の正式競技に取り組んでいるトップアスリート等で、次に掲げる条件を満たし、採用後は「チームみえ」の一員として国民体育大会において入賞もしくは入賞に導く能力を有する者とする。

国民体育大会や全日本選手権大会もしくはこれらに準ずる大会において、個人競技は3位以上、団体競技は8位以上の成績を収めた成年選手またはその指導者

※本県の成年選手の競技力向上に必要な存在であり、三重県競技力向上対策本部が特別に認めた者については、上記の限りではないこととする。  
※選手としての成績については、高等学校卒業後のものに限ることとする。

### 3 実施内容

- (1) スポーツ指導員の採用については、三重県競技力向上対策本部と公益財団法人三重県スポーツ協会が協議を行ったうえで決定する。
- (2) 公益財団法人三重県スポーツ協会は、スポーツ指導員の勤務管理を行うとともに、本県選手の競技力向上を図るため、スポーツ指導員を競技団体が実施する強化練習や合宿に派遣する。
- (3) スポーツ指導員の活動に係る旅費については、予算の範囲内で支出する。

### 4 年間計画

- 4月 協定書の締結
- 4月～ 競技団体が実施する強化練習や合宿等に派遣

## ディレクター配置事業 実施方針

令和3年度当初予算【6,000千円】

### 1 目的

全国・国際スポーツ大会で活躍実績のある指導者をディレクターとして競技団体に配置し、成年種別の戦力補強を計画的に推進することで、三重とこわか国体において天皇杯・皇后杯を獲得するとともに、大会終了後も安定した競技力を確保することを目的とする。

### 2 対象

三重とこわか国体における正式競技の指導者で、次に掲げる条件を満たし、採用後は「チームみえ」の一員として成年種別の戦力補強を計画的に推進する能力を有する者とする。

全国・国際スポーツ大会で活躍実績のある指導者で、成年選手獲得に係る指導・助言や成年選手の推薦、強豪大学や実業団チームとのネットワークづくり等の業務にあたることができる者

### 3 実施内容

- (1) ディレクターの採用については、三重県競技力向上対策本部及び公益財団法人三重県スポーツ協会が協議を行ったうえで決定する。
- (2) 公益財団法人三重県スポーツ協会は、ディレクターの業務管理を行うとともに、各競技団体における成年種別の戦力補強を計画的に推進するため、ディレクターを競技団体が実施する強化練習や合宿、会議等に派遣する。
- (3) ディレクターの活動に係る旅費については、予算の範囲内で支出する。

### 4 年間計画

- |     |                          |
|-----|--------------------------|
| 4月  | 契約書の締結                   |
| 4月～ | 競技団体が実施する強化練習や合宿、会議などに派遣 |

令和3年度ディレクター配置事業に係るディレクター

	名 前	所 属	専 門 競 技
1	草薙 健太	中京大学	水泳（競泳）
2	塩田 義法	日本体育大学	水泳（水球）
3	植田 実	びわこ成蹊スポーツ大学	テニス
4	藤波 俊一	INABEレスリング アカデミー	レスリング
5	記虎 敏和	PEARLS	ラグビーフットボール
6	尾野藤直樹	日本カヌー連盟	カヌー

## チームみえ・コーチアカデミーセンター事業 実施方針

令和3年度当初予算 【64,475千円】

### 1 目的

三重とこわか国体における天皇杯・皇后杯の獲得やその後の安定的な競技力の確保のため、少年種別の競技力向上にむけた指導者の指導力の向上や意識改革を図るとともに、その指導を多面的に支える指導体制の構築を図ることを目的とする。

### 2 対象

公益財団法人三重県スポーツ協会加盟団体のうち国民体育大会の正式競技で、三重とこわか国体の監督等主たる指導者として競技団体の長より認定された者とする。

### 3 実施内容

#### (1) みえコーチアカデミー

コーチとしての資質向上に加え、コーチデベロッパーとして役割を学ぶ。

- ① 三重とこわか国体に向けた強化戦略プランに対して、HW（ホームワーク）やブラッシュアップ研修による進捗と検証。
- ② 国内トップクラスの講師を招聘した研修やディスカッション等。
- ③ 県外研修による優秀指導者実践観察等。
- ④ 県内指導者の運動観察・実践指導・ディスカッション及び有識者による指導助言。
- ⑤ プレゼンテーション及びディスカッション。
- ⑥ 各競技団体における指導体制等の分析や強化戦略の課題に対する指導助言（カンファレンス）。

#### (2) みえマルチサポートシステム

実践指導における指導体制上の課題の解決に向けた様々なサポートの実施と検証。

#### (3) みえコーチングコミュニティ

強化戦略プランの進捗や成果、最新の情報等の相互発信と共有。

### 4 年間計画

4月～	みえマルチサポートシステムによる支援
5月	アカデミーⅠ
6月	アカデミーⅡ
11月	アカデミーⅢ
2月	アカデミーⅣ
通年	県内研修 運動観察・実践指導
年1回	県外研修
通年	ホームワークによるカンファレンス

## 競技用具等整備事業 実施方針

令和3年度当初予算【3,600千円】

### 1 目的

三重とこわか国体に向けて競技力向上を図るとともに、大会終了後の全国大会等において安定した競技力を確保するため、強化活動に必要な競技用具等を整備することを目的とする。

### 2 整備対象競技

本事業により、競技用具等を整備する競技は、国民体育大会における正式競技とする。

### 3 整備対象競技用具等

- (1) 競技力向上に必要と認められるもの。
- (2) 選手が大会等で直接的に使用するもの。
- (3) 高額等の理由により、個人や競技団体に整備することが困難なもの。
- (4) 競技用具等が整備されておらず、新たに整備する必要があるもの。
- (5) 既存の競技用具等が、規格外、老朽化、性能不足等の理由により、改めて整備する必要があるもの。
- (6) 競技力向上のために数が不足しているもの。

### 4 実施内容

- (1) 前出要件を満たす競技用具等の整備を希望する競技団体は県に申請を行う。
- (2) 県は競技特性、用具の特殊性、見積価格、ヒアリングの内容、現地調査を総合的に精査し、選定委員会において適当と認められた競技用具等を購入する。
- (3) 競技団体に対して県が購入した競技用具等を貸し付ける。
- (4) 貸し付けした競技用具等について、競技団体は責任を持って管理するとともに、引渡し、維持、修繕及び返納に要する費用を原則負担する。



## みえのアスリート応援・発信事業 実施方針

令和3年度当初予算【5,631千円】

### 1 目的

本県代表として活躍するアスリートを幅広く情報発信することで、スポーツを「みる」「支える」人との一体感を醸成することを目的とする。

### 2 実施内容

#### (1) 広報紙の作成

県内で活躍しているアスリートを幅広く情報発信できるよう、広報紙の作成を行う。年2回程度発行を行う。

〔配布先〕

- ・県内の小・中・高等学校の児童生徒
- ・県内のスポーツ関連施設
- ・イベント等

#### (2) チームみえ啓発物の作成

県代表選手の活躍を啓発できるよう、チームみえのロゴ等を使用した啓発物の作成を行う。

- ・県代表選手及びスタッフユニフォーム等
- ・応援用グッズ等

### 3 年間計画

- |      |                    |
|------|--------------------|
| 6月   | 「輝くみえのアスリートNEWS」発行 |
| 5～9月 | チームみえ啓発グッズ等作成      |
| 11月  | 「輝くみえのアスリートNEWS」発行 |

【 令和3年度暫定予算の専決処分 】

三重県競技力向上対策本部 令和3年度暫定予算

(令和3年4月1日～6月1日)

1 収入

(単位:千円)

科目	令和3年度 当初予算案	暫定予算	備 考
負担金	418,752	339,216	三重県負担金
計	418,752	339,216	

2 支出

(単位:千円)

科目	令和3年度 当初予算案	暫定予算	備 考	
事業費	会議費	4,000	1,500	対策本部会議費等
	三重とこわか国体少年選手強化指定事業	1,200	700	5月までの執行見込額
	チームみえスーパージュニア強化指定事業	9,100	4,000	5月までの交付決定見込額
	チームみえ国体選手強化事業	278,611	278,611	4月1日付けで県スポーツ協会と委託契約
	女性アスリートタレント発掘・育成事業	10,000	1,200	5月までの教育育成プログラム経費等
	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	36,120	18,000	5月までの交付決定見込額
	オリンピック等選手強化指定事業	2,200	1,000	5月までの交付決定見込額
	トップアスリート応援事業	7,400	1,200	5月までの給付見込額
	みえのアスリート応援・発信事業	5,631	3,000	広報誌(6月発行)、応援物品発注等
	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	64,475	30,000	ブラッシュアップ研修(5月) 5月までのマルチサポート執行見込額等
事務局費	15	5		
計	418,752	339,216		

# 審 議 事 項

## 令和2年度事業報告書（案）

## 1. 会議の開催と審議、協議の内容について

開催年月日	会議名	主な審議、協議内容
令和2年 6月1日	第8回本部会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の変更（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過（報告）</li> <li>・第13回、第14回競技力向上対策委員会の概要（報告）</li> <li>・第74回国民体育大会 総合成績（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部 各専門委員会の概要（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策委員会における審議決定事項（報告）</li> <li>・令和元年度事業報告、収支決算</li> <li>・令和2年度事業計画、収支予算</li> </ul>
令和3年 3月18日	第15回競技力向上対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の変更（報告）</li> <li>・三重県競技力向上対策本部等に係る開催経過（報告）</li> <li>・令和2年度競技力向上対策事業に係る実施報告及び成果（報告）</li> <li>・第76回国民体育大会冬季大会三重県選手団報告（報告）</li> <li>・令和3年度競技力向上対策事業（案）について（審議）</li> <li>・三重とこわか国体に向けた強化について（協議）</li> </ul>

## 2. 選手の育成・強化について

実施時期	競技力向上の取組	具体的取組
令和2年6月 ～ 令和3年3月	チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業	将来活躍が期待できるジュニアアスリート1,010名を「チームみえジュニア」として指定
令和2年6月 ～ 令和3年3月	トップジュニア育成事業	世界大会等で活躍するジュニア選手21名(中高生枠:12、U20枠:9)を「チームみえスーパージュニア」として指定し、強化活動を支援
令和2年4月 ～ 令和3年3月	チームみえ国体選手強化事業	三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯獲得を確実なものとするため、活躍が期待できる本県代表選手(チームみえ)の強化活動を支援
令和2年4月 ～ 令和3年3月	女性アスリートタレント発掘・育成事業	優れた資質のあるジュニア選手を発掘し、教育・育成プログラムや専門プログラムを実施し、世界大会で活躍する選手を育成
令和2年4月 ～ 令和3年3月	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	〔 A強化指定チーム 〕 ・NTN陸上競技部 ・伊賀FCくノ一三重 ・三重バイオレットアイリス ・名張乗馬クラブ ・北勢ライディングファーム ・PEARLS ・相好体操クラブ ・三重県庁クラブ
		〔 B強化指定チーム 〕 ・AGF陸上競技部 ・デンソー女子陸上長距離部 ・株式会社安永弓道部 ・エクセディ卓球部 ・三重県警察(剣道、ライフル射撃) ・ヴィアティン三重(サッカー、バレーボール) ・FC. ISE-SHIMA ・鈴鹿ポイントゲッターズ ・みえ高田VCsala ・乗馬クラブクレイン東海
		〔 C強化指定チーム 〕 ・ヴィアティン三重(バスケットボール) ・Revelize(バスケットボール)
令和2年4月 ～ 令和3年3月	オリンピック等選手強化指定事業	世界大会で活躍が期待できる成年選手8名を強化指定し、強化活動を支援
令和2年4月 ～ 令和3年3月	トップアスリート応援事業	三重とこわか国体で活躍が期待できる少年選手17名に対し、給付金で強化活動を支援

### 3. 指導者の養成について

実施時期	競技力向上の取組	具体的取組
令和2年4月 ～ 令和3年3月	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	<p>三重とわか国体における天皇杯・皇后杯の獲得やその後の安定的な競技力の確保のため、指導者の指導力の向上や意識改革を図るとともに、指導体制の構築を図る。</p> <p>(1) みえコーチアカデミー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラッシュアップミーティングⅠ～Ⅲ</li> <li>・県外研修、県内研修</li> </ul> <p>(2) みえマルチサポートシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートスタッフの派遣</li> </ul> <p>(3) みえコーチングコミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のマガジン (NEWS LETTER) の発行</li> <li>・グループLINEでの最新情報共有</li> </ul>

### 4. 広報・啓発について

実施時期	競技力向上の取組	具体的取組
令和2年4月 ～ 令和3年3月	みえのアスリート応援・発信事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙「輝くみえのアスリートNEWS」の配布 (各種会議、中学校、イベント配布)</li> <li>・横断幕を作製</li> </ul>

## 三重県競技力向上対策本部 令和2年度収支決算書(案)

## 1 収入

(単位:円)

科目	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	決算額	不用額	備考
負担金	354,314,000	0	354,314,000	353,723,479	590,521	三重県負担金
収入合計	354,314,000	0	354,314,000	353,723,479	590,521	

## 2 支出

(単位:円)


科目	当初予算額	補正予算額	補正後予算額	決算額	不用額	備考
事業費	会議費	4,393,000	△ 1,650,000	2,743,000	2,695,243	47,757
	チームみえジュニア指定、保護者・研修プログラム事業	2,000,000	△ 850,000	1,150,000	1,120,839	29,161
	トップジュニア育成事業	7,500,000	△ 1,300,000	6,200,000	6,185,315	14,685
	チームみえ国体選手強化事業	224,231,000	19,200,000	243,431,000	243,261,534	169,466
	女性アスリートタレント発掘・育成事業	10,000,000	△ 4,700,000	5,300,000	5,259,820	40,180
	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	28,000,000	2,900,000	30,900,000	30,707,823	192,177
	オリンピック等選手強化指定事業	2,800,000	△ 450,000	2,350,000	2,324,513	25,487
	トップアスリート応援事業	7,400,000	△ 1,200,000	6,200,000	6,180,402	19,598
	みえのアスリート応援・発信事業	3,500,000	0	3,500,000	3,478,698	21,302
	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	64,475,000	△ 11,950,000	52,525,000	52,494,474	30,526
事務局費	15,000	0	15,000	14,818	182	
支出合計	354,314,000	0	354,314,000	353,723,479	590,521	

# 監 査 報 告

令和2年度収支決算に関する証拠書類と諸帳簿について監査したところ、その内容が適正であったことを認めます。


令和 3 年 5 月 25 日

監 事

下田 二 

令和 3 年 5 月 25 日

監 事

天野 晴夫 

三重県競技力向上対策本部

本部長 鈴木 英敬 様



## 令和3年度事業計画書（案）

### 1 会議の開催について

- (1) 本部会議
- (2) 競技力向上対策委員会

### 2 選手の育成・強化事業について

- (1) ジュニア・少年選手
  - ① 三重とわか国体少年選手強化指定事業
  - ② チームみえスーパージュニア強化指定事業
  - ③ 女性アスリートタレント発掘・育成事業
  - ④ トップアスリート応援事業
- (2) 少年選手・成年選手共通
  - ① チームみえ国体選手強化事業
- (3) 成年選手
  - ① 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業
  - ② オリンピック等選手強化指定事業

### 3 指導者の養成事業について

- (1) チームみえ・コーチアカデミーセンター事業

### 4 広報・啓発について

- (1) みえのアスリート応援・発信事業

令和3年度競技力向上対策事業について

	事業名	対策本部事業	対象
①	チームみえジュニア育成事業		ジュニア・少年選手
②	ジュニアクラブ・運動部強化指定事業		
③	三重とこわか国体少年選手強化指定事業	○	
④	高等学校運動部強化指定事業		
⑤	チームみえスーパージュニア強化指定事業	○	
⑥	女性アスリートタレント発掘・育成事業	○	
⑦	トップアスリート応援事業	○	
⑧	チームみえ国体選手強化事業	○	少年・成年選手共通
⑨	女性アスリートサポート事業		
⑩	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	○	成年選手
⑪	オリンピック等選手強化指定事業	○	
⑫	トップアスリート就職支援事業		
⑬	スポーツ指導員配置事業		指導者
⑭	ディレクター配置事業		
⑮	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	○	
⑯	競技用具等整備事業		環境整備
⑰	みえのアスリート応援・発信事業	○	広報啓発

## 三重県競技力向上対策本部 令和3年度収支予算書(案)

## 1 収入

(単位:千円)

科目	前年度 当初予算 (A)	本年度 当初予算案 (B)	比較増減額 (B-A)	備考
負担金	354,314	418,752	64,438	三重県負担金
計	354,314	418,752	64,438	

## 2 支出

(単位:千円)

科目	前年度 当初予算 (A)	本年度 当初予算案 (B)	比較増減額 (B-A)	備考	
事業費	会議費	4,393	4,000	△ 393	
	チームみえジュニア指定、指導者・保護者研修プログラム事業	2,000		△ 2,000	
	三重とこわか国体少年選手強化指定事業		1,200	1,200	
	チームみえスーパージュニア強化指定事業	7,500	9,100	1,600	
	チームみえ国体選手強化事業	224,231	278,611	54,380	
	女性アスリートタレント発掘・育成事業	10,000	10,000	0	
	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	28,000	36,120	8,120	
	オリンピック等選手強化指定事業	2,800	2,200	△ 600	
	トップアスリート応援事業	7,400	7,400	0	
	みえのアスリート応援・発信事業	3,500	5,631	2,131	
	チームみえ・コーチアカデミーセンター事業	64,475	64,475	0	
事務局費	15	15	0		
計	354,314	418,752	64,438		



そ の 他  
(情報共有事項)

## 三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に向けた取組について

すべての皆さんにとって安全・安心な両大会となるよう、万全な新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつ、これからの時代に相応しい、新しい国体・大会のかたちを三重から示し、スポーツの持つ素晴らしさや、夢と希望、勇気を県民の皆さんに届けるという使命感を持って、両大会の開催に向けた取組を進めます。

### 1 開・閉会式について

#### (1) 会場等

①競技会への影響の排除、②徹底した感染防止対策、③選手や観覧者等の削減、による感染リスクの低減を踏まえつつ、多様な式典演出に対応できる、三重県総合文化センターで実施します。

また、令和3年3月、式典の見直し内容をふまえた、「三重とこわか国体・三重とこわか大会 開・閉会式における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」を策定し、安全・安心な運営に向けて取り組みます。

#### (2) 式典

規模を縮小して実施するだけでなく、選手を式典メイン会場から分離し、安全・安心を確保したうえで、デジタル技術を活用して両大会への想いや感動を伝えるなど、前例にとられない、史上初となる「オンライン式典」を実施します。



※イメージ

(会場の物理的、技術的制約により  
変更となる可能性あり)

#### (3) 式典演技

国体・大会の開会式に行われる「式典演技」は、ダンスや音楽等、さまざまなパフォーマンスで開催県の魅力を伝えるプログラムです。

両大会の「式典演技」は、「Gift from Mie ～選手に届け ところわかの力～」と題し、本県出身の小説家 江戸川乱歩の「少年探偵団」シリーズをモチーフに、「謎解き」をテーマとしたストーリーで、三重県の持つさまざまな魅力を発信しながら、選手の皆さんに応援の気持ちを贈る内容となります。

### 2 競技会について

#### (1) 三重とこわか国体

昨年11月、競技会運営において実施することが望ましい標準的な感染防止対策をとりまとめた「三重とこわか国体 競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」(令和3年3月第2版)を策定しました。

引き続き、市町及び競技団体とともに、安全・安心な競技会運営に向けて取り組みます。

## (2) 三重とこわか大会

令和3年2月、参加・来場される方の障がい特性等にも配慮した、「三重とこわか大会競技会における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」(令和3年3月第2版)を策定しました。

引き続き、市町及び競技運営主管団体とともに、安全・安心な競技会運営に向けて取り組みます。

## 3 県民力結集に向けた取組について

### (1) 情報発信

県政だより、テレビ広報、広報誌、SNSなどの媒体を活用し、両大会に向けて頑張っている三重県選手の紹介や、競技の見どころなどの情報を発信することで、県民の皆さんの応援ムードを高めていくとともに、4月から始まったデモンストレーションスポーツや文化プログラム、炬火イベントなどの情報も発信することで、開催年に入った機運を盛り上げます。

また、節目におけるテレビ・新聞での情報発信、多くの方に周知できるよう、交通広告や主要駅での歓迎装飾に取り組むとともに、東京2020大会直前の熱気あふれる時期に開催100日前イベントを、さらに、国体開催直前にみえのスポーツフォーラムを開催し、両大会の開催機運の盛り上げへとつなげていきます。

#### ○1日1選手紹介(Twitterでの発信)

選手の人となりを紹介する「1日1選手紹介」を開始。県民の皆さんに両大会に挑む選手の思いを知っていただき、身近に感じていただくことによって、チームみえを応援するムードを盛り上げていきます。



### (2) とこわか運動

両大会を盛り上げていただく県民の皆さんの活動である「とこわか運動」は、学校や企業などさまざまな団体に取り組んでいただいております。県内全域に広がっています。(とこわか運動登録件数 令和3年4月30日時点：920件)

これまでは、機運醸成に向けた取組を中心に実施していただいております。今後は、おもてなしにつながる多くの取組が実施されるよう、市町や競技団体等と連携し、県民の皆さんに働きかけていきます。

## 4 両大会全般にわたる感染防止対策について

令和3年3月25日、「三重とこわか国体・三重とこわか大会 新型コロナウイルス感染防止対策基本方針」を策定しました。この基本方針では、両大会全般にわたる新型コロナウイルス感染防止対策の全体像を示すとともに、県民の皆さんや県外から訪れる皆さまなどをお願いしたいことや、開催可否検討のための基本的な考え方を記載しています。

基本方針や各種ガイドラインについては、今後の感染状況の変化に応じて適時適切に見直すなど、実効性を確保しつつ、引き続き、県民の皆さんやすべての参加者の安全・安心の確保を最優先に取り組みます。









# 三重とこわか国体

第76回国民体育大会

2021年 9月25日(土)~10月5日(火)

ときめいて人 かがやいて未来 2021

# 三重とこわか大会

第21回全国障害者スポーツ大会

2021年 10月23日(土)~10月25日(月)

